

行政視察報告書

行政視察の結果について、下記のとおり報告します。

令和7年12月15日

光市議会議長 森戸 芳史 様

議員 早稲田 真弓

記

- 1 調査年月日 令和7年11月18日（火） 13：30～15：00
- 2 調査市等 呉市 議会だよりの企画・編集について
議会報告会について
- 3 調査結果 別紙のとおり

調査結果

| | | |
|------|--|--|
| 日 時 | 令和 7 年 11 月 18 日 (火) 13:30~15:00 |  |
| 調査市等 | 吳市 | |
| 調査事項 | 1. 議会だよりの企画・編集について 2. 議会報告会について | |
| 説明者 | 政策研究会 委員長 阪井 昌行 広報委員会 委員 光宗 等 議事課調査広報グループ GL 萩村 和雄 他数名 | |

< 1. 議会だよりについて >

●概要…創刊：平成 29 年 5 月、年間発行回数：5, 8, 11, 2 月（4 回・各月 10 日）

●編集体制…委員：6 人（各会派および諸派から選出された議員で構成）

●編集作業スケジュール…

- ①発行日 15 週前—特集の取材（委員 2 名・事務局職員）
- ②発行日の 9 週間前—第 1 回広報委員会（表紙案・全体構成・スケジュールを協議・確認）
- ③発行日の 7 週間前—第 2 回広報委員会（議案審議 3 件の選定、一般質問原稿作成依頼他）
- ④印刷会社に入稿（一般質問、議案審議）
- ⑤発行日の 2 週間前—第 3 回広報委員会（すべての原稿を委員が確認）
- ⑥発行日の 1 週間前—校了（最終原稿を委員のタブレットに配信、最終チェックは委員長一任）

●広報委員会の予算…委託料 955 万円（印刷製本費としてデザイン料は含まない）

 視察費 64 万 8 千円（委員 6 人×10 万 8 千円、2 年間で 1 回視察可能）

●令和 4 年度のリニューアル

- ・経緯…議員の機運の高まり「もっと市民に見てもらえる議会だよりにしたい」
- ・助言…講師から「伝えるのではなく、伝わる広報紙を目指す」
- ・助言を受け協議した結果
 - ①写真を多用した、特集記事を巻頭で扱う
 - ②表紙は特集に関連したインパクトのある写真
 - ③若者にも手にしていただくため、余白を設け、主に横書きとし、写真やイラストを多用する。見た目の強化を図る。
 - ④タイトルロゴを作成し、各号毎に紙面全体のイメージカラーを定め、統一感を持たせる。
 - ⑤ユニバーサルデザインフォントを使用し、読みやすい書体に変更。
 - ⑥12 ページから 16 ページに変更

●議会だよりの紙面構成

- ・表紙…特集に関連する写真よりデザインをつくり広報委員会で選定
- ・特集…テーマは議決後に実施した事業、施設等の整備状況や成果を追跡取材する。
- ・議案審議…直近の定例会の議案の中から活発な議論になったものを選定

- ・一般質問…会派の代表、諸派の議員（議員名、顔写真、写真またはイラスト、文字数 220 字）
 - ・議会トピックス…議会の人事、議会報告会、議員の研修会、市民の関心がある議案など
 - ・裏表紙…議会日程、傍聴案内、インターネット中継、編集後記、小学生のコメント・記事



<所感>

表紙のデザインがインパクトがあり素晴らしい、業者に発注していると思い込んでいたが、広報委員会と事務局で作成していると聞いて驚いた。紙質を変更することで予算を減額したことにも参考になった。

若者に議会だよりを見てもらい、関心を持ってもらうために、市内高校に毎号届けたり、配布が難しい場合には、紙面データを生徒のタブレットに配信したり、教室や職員室前に配架しているなど、本市でも取り組めると思った。

＜2. 議会報告会について＞

●吳市議會基本條例

(議会報告会) 第 10 条 議会は、市政の諸課題に柔軟に対処するため、議員及び市民が自由に情報及び意見を交換する議会報告会を行うものとする。

●議会報告会のあゆみ

- ・平成 22 年度…市内 2 会場、参加者 273 人
 - ・平成 23 年度…市内 16 会場、参加者 858 人
 - ・平成 27 年度…市内 16 会場、参加者 455 人
 - ・令和元年度…市内 5 会場と高校 7 校、参加者一般 106 人、関係団体 87 人、学校 1,825 人
 - ・令和 6 年度…市内 3 会場と高校 9 校、参加者一般 52 人、学校 980 人



●議会報告会のテーマ

平成 27 年度までは、どの専門委員会が担当しても同じテーマ。

平成 28 年度からは「議会のしくみ」について共通の説明内容とし、テーマは各常任委員会の所管事務について報告。

●令和5年度からの変更点

これまで議会側が日時とテーマを設定し開催していたが、「参加者が集まりにくい」「地域

の課題に対応していくべき」とのことを受け、令和5年度より地域から申込をいただき、事前質問形式とし、政策研究会が議員の日程調整や委員会の決定などを行うこととした。



<所感>

事前質問制を受け付けているので、議会報告会当日までに回答の準備ができるのは良いし、質問の回答については持ち帰らないこととし、報告には回答を掲載しなくて良いので効率的だと思う。また、担当を常任委員会で行っているので、取り扱う案件のものが絞れて良い。

全体的な参加者は減少気味だが、高校や大学などで議会報告会を行うことにより、若者の意見をより多く聞くことができ、若者に市政に関心を持ってもらう良い機会となっている。

本市の議会報告会も毎年同じパターンで行うのではなく、さまざまな方法で開催してみてはどうかと思った。